

Niigata University

2010年冬号
No.173

新大広報

特集1

Take Roots from N-Ground '09

特集2

キャリアって何だ3う?

～「先生」「先輩」「私」が見ている“キャリア”というもの～

学生Interview!!

Who Do? (food)

第2回 肉料理

クロスワードパズル

New 編集室便り

新大広報談話室

 新潟大学

特集1

Take Roots from N-Ground '09

みなさんは「Take Roots from N-ground」というお祭りをご存知でしょうか？学内外で広報していたので知っている方もいるかもしれませんが。もしかしたら参加したという方もいるかもしれません。

「Take Roots from N-ground」は「学生と地域をつなぐ」ことを目的としたお祭りで、すべて学生主体で企画・運営されています。今回、新大広報では10月31日に開催された「Take Roots from N-ground '09」の準備・当日の様子を取材しました。

Take Roots from N-ground とは

新潟大学のキャンプ場で、開催される野外音楽イベント「Take Roots from N-Ground」
新潟に根を張り活動するアーティストたちのライブ、ライブペイント、展示会。
さまざまな分野で新潟を盛り上げようと奮闘する方々の講演会。

伝統文化体験、ワークショップ。

Take Rootsはこれらのことを通じて、学生と地域の新たなつながりを生み出すことを目的としたお祭りです。
私たち学生編集スタッフもこのイベント企画を通じて、地域の魅力、新潟の魅力を感じ、それを受け、
私たちに何ができるのかということを考えていきたいと思っています。

いきさつ

全国各地、世界各地で開催されているEARTHDAY(地球のことをかんがえる日)というイベントがあります。
「新潟大学でもEARTHDAYのようなイベントを開きたい」という有志の学生により、2008年に第1回目の「Take Roots from N-Ground」が開催されました。take rootsという名前には「根を張る」という意味があり、新大生に新潟の地に「根付く」住民であるという意識を持ち、新潟をもっと盛り上げていくために何ができるかを考えてもらう機会にしています。今回で2回目の開催となります。

ペットボトルで
キャンドルシェイドを
作っています。
これでキャンドルの
光がキレイに見える。
風で火が消えません。

廃物も薬品で固め
キャンドルにします。
クッションを入れると
こんなにキレイな色に!!

名々の感性を活かし
看板を作ります。
ここにも匠がいました。

お祭り前日です。
この日は30人がかりで準備しました。

ビニール傘にカラフルなデコレーションをしています。
この傘はどのように使われるのでしょうか？

いらなくなった服を利用して
テリテリ坊主を作っています。
当日晴れるのでしょうか？

この日は新メンバーが
3人加わりました。
もうこんなに仲良くないました☆

当日の流れや
各担当の進捗状況を
確認しました。

ファシリテーション
グラフィックを
使っています。

～ 事前準備 ～

イベント準備中、代表の飯塚さんをはじめスタッフの方にいろいろ質問をぶつけてみました！

スタッフとして参加した理由を教えてください。

- 「学生と地域をつなげて、新大エリアを盛り上げたい！学生の意識、価値観を変えたい！」と思ったからです。(飯塚)
- 学生が企画から運営までのすべてを0(ゼロ)から作りあげているのにとっても魅力を感じたからです。また、このイベントを通して普段の大学生活では絶対に会えないような人たちと出会えると思ったからです。(小川)

準備では何を担当していましたか？ またはどのような作業をしていましたか？

- 主に看板作りを担当していました。西門入り口に貼られていた看板は自分が描いたものです(笑)(佐藤)
- 広報を担当しました。仕事はブログでの活動報告や協賛団体の紹介、イベントの告知、協賛まわり、ポスターやフライヤーの配布、ピラ配りなど。また、会計も担当していて、仕事は協賛金の収集・管理、準備費用・出演料等の割り当てなど…。(百瀬)

準備をしていて感じたことは何ですか？

- 学部・学年を超えていろいろな人と出会えたことがうれしかったです。美術部の人と看板を描いたりしたのですが、やはり本業の人にはかないませんね。(佐藤)
- 新しいお友達が出来ました。タルチョ(旗)を縫う作業は地道でした。(森)
- キャンプ場にヤギを放てなかったコト!(角地)
- 今まで「何かを始める人たち」を遠くからすごいなあと思って見ていただけで、自分が参加することはなかったから、今回一緒に準備できて大きな刺激となりました。(渡部)

どんなお祭りにしようと準備してきましたか？

- やっぱり普段の大学ではあり得ない、良い意味での『異質的な空間』になればいいなと思っています。また、大学生だけでなく地域の子供からお年寄りまでほんとうにさまざまな人たちが互いに縦にも横にも触れ合えるようなお祭りになればいいなと思っています。(小川)
- 学生がたくさん足を運んでくれるようなイベントに！学生が地域の人とふれあえるようなイベントに！とにかく楽しいイベントに！(百瀬)

Photo snap

イベント
当日

新潟大学五十嵐キャンパスキャンプ場
10月31日(SAT)



早朝の準備の様子

朝早くのためか、皆眠そうにしていたが、このイベントを成功させたいという気持ちから、豚汁作りやステージの機材運び、テント張りなどブースごとに、着々と準備を進めていました。(俊樹)

会場の雰囲気 1

天気にも恵まれ、ほのぼのとした雰囲気、時間がゆっくり進んでいるように感じました。お昼になるにつれ、来場者が増えてきて、スタッフの方々も来場者と共にイベントを楽しんでいました。(俊樹)



会場の雰囲気 2

緑に囲まれた会場の中心には、たき火。その周囲には想像力をかきたてるアート。見上げれば青い空と様々な色のフラッグ。10月31日、教育学部の裏にあるキャンプ場の景色は夢のようでした。(安藤)

講演会

午後の温かい日差しの中、新潟青年協力隊の谷口さん、新潟市西区の岡田区長の講演には多くの人が耳を傾けていました。素敵なお話やタメになる話に参加者も満足していたようです。(馬場)



パワーライザー試乗会

パワーライザーとは、脚に装着して使用する西洋竹馬の一種で2メートル程度まで飛び上がることができます。歩くことさえもとても難しかった!でもジャンプしてトランポリンのように跳べた時は快感でした!(百瀬)



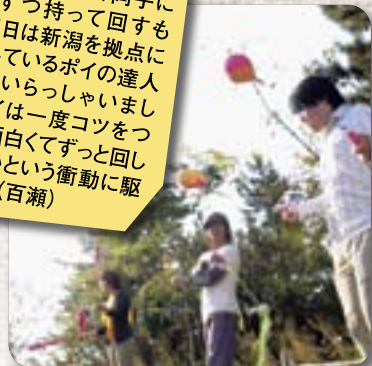
エコバッグ作り

シルクスクリーンという技法でオリジナルのエコバッグを作れるブースです。「楽しそう!」「カッコイイ!」と、学生からおばさま方まで大人気。(三木)



入門ポイ体験

ポイとはジャグリング道具のひとつ。紐の先端に玉がついており、両手に一つずつ持って回すもの。当日は新潟を拠点に活動しているポイの達人たちがいらしていました。ポイは一度コツをつかむと面白くてずっと回っていたいという衝動に駆られます!(百瀬)



廃油キャンドル作り

このワークショップは廃油の再利用と、キャンドルの明かりで電気のありがたさを感じるという2つのエコの意味が込められているそうです。廃油の色が出てしまうのが難しいところですが、皆さん工夫してきれいな色を作っていました。(三木)



Liveペイント

-tamalele・BxBstones-新潟を拠点に活動されているお二人がイベント開催中、キャンプ場で絵を描いていました。絵がだんだんできあがる風景をみることもできるのもLiveペイントの良さですね。(百瀬)



音楽

レゲエ・ロック・アコースティック・ウクレレ・パーカッション・ふんどの人。新潟に根付いて活動しているアーティストによる音楽ライブ!! なんて異空間!!(福野)



写真展 -高田真裕・Kurico-

藤棚からつるされた写真が、風に揺られなんとも綺麗でした。屋外で写真を見るということが新鮮な写真の見かたでした。(俊樹)



内野盆踊り

地域の方々をお手本に、輪になって踊りました。初めての人も見よう見まねで楽しそうに踊りを覚えていました。(三木)



新潟味覚市

野菜たっぷりの豚汁。たき火で焼いた焼き芋。白く輝くおにぎり。この3品が、何と無料の新潟味覚市!さらに内野にある榎木酒造が心を込めて作った地酒「鶴の友」の試飲会も開催!今、この土地にいて本当によかった!(安藤)



ファイナーレ

お客さんもアーティストもスタッフもみんなでジャムセッション&ダンス!! ファイヤーポイもぐるぐるぐるの回り、みんなの目を奪いました。(福野)



キャンドル

会場のいたるところに設置された、キャンドル。日が暮れて火が灯されると、その優しい明りに多くの人が魅了されていました。とても素敵でした。(馬場)



Guest's voice

【参加者の声】

当日見に来てくれたお客さんやアーティストにインタビュー！

留学生

何を見ていらっしかったですか？

「学務情報システムのメールで送られてきて知りました。いろいろ体験してみてください、という趣旨で送られてきたものの一つだったんです。」

始まったばかりですが来てみてどうですか？

「すごく小さな、学校の文化祭みたいでとてもわくわくしています。」

若者

今日来てみていかがですか？

「雰囲気、音楽がいいですね。音が遠くまで聞こえていて、楽しそうだな～と思って来てみたら、ホントにみんな楽しそうにしている。こうやって食べ物も食べれたりキャンドルも作れたりして楽しいイベントだと思います。」

ふるまいはおいしかったですか？

「サツマイモがすごくいい焼き具合でした。中が黄色くておいしかったです。」

このあとも何が見て回りますか？

「エコバッグが作れそうなので見てみたいと思います。」

アーティストPHOKA

普段は何をしている方なんですか？

「普段は犬の散歩をしたり、おうちでご飯を作ったりしています。絵を描くのと歌うのが好きなので、たまに友だちのイベントに出させてもらったり、あとライブペイントをしたりしてます。」

どうですが、今日のイベントは？

「いいんじゃないでしょうか。大学ってどんな感じなんだろうと思っていただけ、デコレーションもすごくかわいいし、すごくいい感じで、ゆるくて温かい感じができてます。」

盆踊りの後、参加者にインタビュー！

学生 経済4年

参加してみてどうですか？

「最初は全然踊りがわかんないと思ったんですけど、見よう見まねで踊っていたら意外とできるようになって面白かったです。」

このイベントについてどう思いますか？

「連れられてきたんですけど、参加してみたら非常に楽しくて、これからも楽しめたらなと思います。」

学生 教育4年

参加してみてどうですか？

「初めての人と初めての曲を踊って楽しいことだなと思いました。」

今日のイベント参加してみてどうですか？

「一日だけじゃもったいないなというのが正直な感想です。」

内野のおばあちゃんたち

このお祭りに参加してどう思いましたか？

「楽しかったです。学生さんが一生懸命にがんばってくれて、とても良かったです。」

盆踊りはどうですか？

「学生さんもよく踊ったし、私たちも一生懸命に汗かいて踊って、とても良かったですよ。また来年もお願いします。」

このイベントは学生と住民の協力してやっているんですけど、どう感じましたか？

「すごくいいですね。若い人と一緒に踊るということは、パワーをもらえて。」

また機会があったら参加してみたいと思いますか？

「はい、参加してみたいです。」

赤ちゃんのおかあさん

このお祭りに参加してみてどんな感じでしたか？

「意外と地域の皆さんとかいろいろな方が来ていて楽しそうでいいと思いました。特に盆踊り。」



Take Roots
from N-Ground '09

Staff's voice

【運営スタッフの声】

イベント後スタッフに感想を聞いてみました。

当日は本当にあっという間に終わってしまいました。来てくれた人たちだけでなく僕自身も楽しめたことが一番良かったと思います。イベントに参加してくれた人たちはみんな良い笑顔をしていてとても感動しました。

(教育学部1年)

楽しかったですね。去年よりもいっぱい人が来てくれたので、去年とは違った色があって今年は今年ですごくよかったなと思っています。初めて会った人とも一緒に話して盛り上がるという体験ができる、こういうイベントをこれからも続けていってほしいです。(科目等履修生)

アーティストの名目で参加させていただきましたが、準備に参加してみても楽しかったので進んで協力したいと思いました！写真見てくれた方ありがとうございます！(カメラマン 高田真裕)

最後にTake Roots from N-ground '09の代表を務めた飯塚さんにインタビューしました。(インタビューア：馬場)

今 Take Rootsが終わったんですけども、感想を率直にお願いします。

想像していなかったような結果になって、本当に大満足。去年よりもお祭りに来てくれたおじいちゃん、おばあちゃんの数も増えたとし、いろんな年代の人がどんどん大学の中に入り込んできてくれて、学生と地域をつなげるというキッカケを作ることができたのかな。いろんな人たちを大学に取り込んで、いろんなアクションがどんどん起こるような環境が生まれるようになってほしいと思いました。



人文学部4年
飯塚光太さん

外部からもゲストを呼んだりして大掛かりなイベントでしただけど、大変でしたか？

大変でしたね。「準備をやらなきゃ」と思い立つのがちょっと遅かったのも、本当に準備中はバタバタでメンバーも集まらなくて、本格的にイベントをやろうという空気になってきたのが2週間ぐらい前からだったんです。だから不安になることが多かったですね。でも自分一人だけの力じゃなくて、周りのいろいろ協力して、頑張ってくれたからこそだと思います。会場のデコレーションや、アーティストのブッキングで頭を悩ませて頑張ってくれたり、調理も当日いきなり「手伝って」と言ったにもかかわらず手伝ってくれたり、本当に期待以上の成果を残してくれたと思います。周りが頑張ってくれたからこそ、ここまでのものができたと思っています。

やりきって大満足？

満足はしているけど、もちろん反省点はいっぱいありますね。広報をもう少しちゃんと頑張ればよかったとか、もう少し最初から役割分担を決めて仕事をしっかりやっていくことを徹底すれば良かったな、とか。そういうところを直していければ、もっとよくなると思うんです。今回のお祭りもうまくいったと思うんですけど、今後に向けてしっかり反省をして、その反省を来年につなげていってほしいなと思っています。

Take Roots from N-groundのホームページ
<http://take-roots.jugem.jp/>
こちらにも当日の様子などが載っています



キャリアって何だ？

～「先生」「先輩」「私」が見ている “キャリア”というもの～

キャリアとは何か。
就職活動が現在進行中の学生にとって、この問いは切実なものでしょう。
ですが、就職してしまったら、キャリアについて考える必要はないのでしょうか？
1,2年生にとってのキャリア。社会人にとってのキャリア。
私の考えるキャリアと、あなたの考えるキャリアは果たして同じものでしょうか？
西條先生！そもそも「キャリア」って何なのでしょう？

キャリアセンターの西條先生に聞いてみました！

そもそもキャリアって何ですか？

キャリアとは、就職という「点」ではなく、仕事を中心とした生き方、人生そのものだと思います。正解があるのではなく、たくさんの選択肢の中で自分の信じたベターな道を見つけていくことが大切です。それは成功ばかりではないかもしれませんが、あとで振り返ってみたときに、自分で納得できる人生だといいいですね。

だから、卒業後も生涯考え続ける必要があるでしょう。

キャリア意識形成の授業では どんなことをしていますか？

授業はいくつか開講していますが、それらは就活のための授業ではなく、社会で必要とされる力を身につけることを目的としています。そのためにはまず自己理解と他者理解をし、その上で自分で考えて行動することを基本としています。そして「今の大学生活を一生懸命やっていれば、必ずこれからの人生に繋がっていきますよ」という考えが、根底にあります。

その結果、学生生活のモチベーションアップにつながれば良いですね。

大学生活でしておいたらいいと 思うことは何ですか？

いろいろな人との関わりを大切にしてほしい。自分とは違う価値観を持った人と少しでも多く触れ合う機会を持ってほしい。自分とは違う価値観、人の話を聞くことで自分の軸ができてくる。その中で、自我を確立できるように思います。

また社会に出ると、チームワークや実行力、積極性も必要になってきます。基礎学力や専門知識の習得と合わせて、今から社会人としての基礎力も身につけてほしいです。

就活や進路について考え過ぎて、立ち止まってしまう学生もいますが「今、頑張っていることは必ず将来に繋がるんだ」と思ってもらいたいですね。なかなかそのときはそう思えなくても、成功体験も失敗体験も含めて、今活動していることは将来に繋がるものです。進路だけでなく学生生活で悩んだらいつでもキャリアセンターへどうぞ。

キャリアセンター 専任教員(准教授)
西條 秀俊(サイジョウヒデトシ)

2005年にキャリアセンターに専任教員として着任。

現在、「キャリアを共に考えるー自己理解・他者理解」(第一学期 水、木、金曜3限・4限)、「キャリア意識形成と自己成長」(第二学期 水曜4限)、などを担当している。

CAREER

キャリアの授業について「何か答えを教えるという授業ではないので、自分の中で気づきとして、新たな発見や課題を見つけてほしいと思っています。」と語ってくれた西條先生。講義を受講した学生の“気づきと発見”に満ちた声をほんの一部ですが、紹介します。

自分のキャリアについて、考えるきっかけになり、バイトにしる、本を読むにしても、**自分の関心、興味を広げて、取り組むようになった。**(教育学部4年生)

立場や経験によって様々な意見や考え方があることを知り、価値観を広げようといろいろな行事や活動に積極的に取り組むようになりました。(人文学部3年生)

自分の人生を客観的に見ることの大事さや、可能性の拡大につながり、**モチベーションアップ**につながった。(工学部3年生)

“**何かをがんばっている人は素敵に見える!!**”ということ面白そうなことがあれば積極的にチャレンジするようになった。”(工学部2年生)

この授業を通してできた**人とのつながり**が、今の人間関係にも影響している実感があります。(法学部4年)

**それでは数年後に振り返ると、この授業を受けたことが
実際役に立っているのでしょうか？
先輩方に訊いてみました！**

“**今後、自分はどう在りたいのか？**”
“**そのためには、今何が必要か？**”
というように、**目標や目的を明確**にした上での行動を採ることが出来るようになった。(経済学部4年生)

様々な分野で活躍するたくさんの卒業生のお話を聞くことができ、今後の人生に関わるような決断をするとき、**先輩方の言葉が一歩踏み出すための自信**になっています。(人文学部卒)



就職課
多田課長に
伺いました！

新大キャリアセンター紹介

キャリアセンターでは、専任教員によるキャリア教育と、情報提供、進路相談、各種支援イベントにより、キャリア意識形成や進路支援を行っています。イベントとして、キャリア意識形成合宿、全学就職総合ガイダンス、インターネットの活用法、自己分析の方法、業界研究の方法やエントリーシートの書き方など年間約70のイベントを開催しています。ぜひ参加してください。参加できなかった学生のため、パソコンコーナーでは、イベントを録画したビデオが見られます。

また個人のニーズに対して、相談体制を充実させています。エントリーシートの添削やカウンターでの相談に加え、個室を使ってプライバシーに配慮した相談(要予約)も受け付けています。

「CCサポーター」募集中!!
CCサポーターは、キャリアセンターを紹介したり、学生目線でキャリアセンターの利用促進を行う学生スタッフです。新学期には2～3年生が、初めての学生にキャリアセンターの使い方を教えました。

●キャリアセンターURL : <http://www.career-center.niigata-u.ac.jp/>



きっかけは
“他人との差から感じた焦り”。

はじめに自己紹介をお願いします。
(福野)

新潟大学法学部4年生の宮澤拓といいま
す。出身は新潟市で高校は新潟南高校で
す。趣味は日本食の食べ歩き、飲み歩きで
す。あと、農業関係のことに興味があ
ります。

大学生活が変わったというき
っかけはありますか。(福野)

僕は2年生のころ、バイト三昧だったん
ですけど、「これでいいのかな、大学生
活」と思っていて。そういう時期に企
業の社長に同行してみるというイベ
ントに参加したんです。そのイベン
トでは僕が最年少で、他の参加者は
留学されてきた方とか団体を立ち上
げた方とかいっぱいいて、1年後の

自分と比べたらまずいかなと思っ
たんですね。(イベントの)参加者は
みんな、問題意識を持ってイベン
トに来ていたので、「どうなの、この
差は!」と思った。そんな時期に長
期のインターンシップを紹介してもら
ったことがきっかけだったと思いま
す。

主体的に動くことで
責任を自覚する。

インターンシップを体験してみ
て、衝撃を受けたことはありま
すか。(福野)

最初インターンシップって相手から
何か教えてくれるだろうと思ってい
たんですけど、主体性が何より求め
られていて。(インターンシップ中
に)新事業が立ち上がったんです
けど、その事業を進める上で(自分
自身が)主体性を欠いてしまって、
本気で怒られたことがありました。
その時、「もうお前とは取引なんて絶
対しないよ」と言われたことが、一
番衝撃的でしたね。社会をなめてい
たかなと思いました。

やっぱりインターンシップはアル
バイトと違いましたか。(泉)

一番の違いは権限の差で、どれだけ
のものを任せていただいているか
ということ。例えば僕は価格の設
定や、交渉時の数量とか交渉の仕
組みなど基本的に何でも任せてい
ただいていたので、その辺が(アル
バイトとの)一番の違いかなと思
います。

インターンシップ期間中で印象に
残っていることはなんですか。(福
野)

インターンシップ中だと、さっき言
った怒られたこととか…あと、僕
は4日で逃げ出したんですよ。その
時に、『7つの習慣』という本を読
んで、初めて「主体性」という概念
を知ったんですよ。

その「主体性」を新しく知ったこ
とによって、日常生活に生きている
部分がありますか。(泉)

それは多分、基本的に自分に責任
を帰属させるような視点が働くよ
うになった点で

すかね。日常生活で起こったこと
は、何でも人のせいにできると思
うんですけど「ああしたらうまくい
ったかもしれない」とか、「よく考
えたらおれも直せるな」とか、それ
を自分に求めること。そうすること
でいろいろな人間関係などうまくい
くようになりますし。

将来への積み重ねは
早ければ早いほど有利。

将来、何かやりたいことはあり
ますか。(福野)

将来的に飲食店をやりたいと思
っています。それは飲食の場がす
ごく楽しかつ

たとか、感動する体験があった
というものあるんですけど、それ
プラス、最近すごく固まってきた
ことで、僕が一番喜ばせたいのは
自分の親であって、両親のために、
そういうお店をまずつくりたい
なと思っています。

最後になりますが、後輩にメ
ッセージをお願いします。(福
野)

僕は、自分の将来を考えるのは
早ければ早いほどいいと思ってい
て、大学の中にあるだけだと将来
の選択って難しいと思うんですよ
。やっぱり外に出ていろんな人に
会ったり、話をしたりして、自分
の方向性を決めていかなければい
けないんじや

ないのかなと思うんです。だから
1、2年生の間からそういう活動
をするとか、考えるということは
積んでいってほしいなと思いま
すね。

1年生だから早い、というのは
ないですね。(泉)

ないと思います。むしろ1年生
のほうがフリーなんですね。「(社
会人から見れば)1年生なのにも
うそんなことをやっているんだ」
となるから絶対有利なんですよ
。1年生の頃そんなことをやって
いる人いないじゃないですか。だ
から、企業の方は、何でも教え
てくれるし、「やっぱり会いた
いんです」というと会ってくれる
しお勧めです。

学生Interview!! 自分の居場所

このコーナーでは、新大で今輝
いている学生に取材をして、その
考え方や素顔に迫っていきます!

第2回目は、長期型インターン
シップ(就職体験)の成果を語る

〈第2回地域若者チャレンジ大賞〉
で、金賞を受賞した“輝人(キラ
ット)”です☆

※輝人=新大広報学生編集スタッ
プが考える「輝いている人」のこ
と

法学部4年生
宮澤 拓(ミヤザワタク)

新潟市出身。長期インターンシ
ップに参加。北信越代表で「第2
回地域若者チャレンジ大賞」にて
金賞・共感賞をダブル受賞。

●地域若者チャレンジ大賞のホ
ームページ
<http://www.challenge-community.jp/award/>

第1位

地域若者チャレンジ大賞で金賞と共感賞というのを
もらったことです。地域若者チャレンジ大賞とは全
国で長期型インターンシップを体験した学生400
人ぐらいで予選をやって、その中から選ばれた8
人が集まってプレゼンテーションをするという
ものです。見た目は僕が賞をもらっているん
ですけど、僕を育ててくれた人がいっぱい
いるんですね。そういうみんなに
対していただいた賞だという気持ちで受け
取っています。

第3位

1、2位以外では、バイトの思い出が
一番いいかな。結構意識の高い店
で(働いていて)、みんなで仕事
って何なのということとか、どう
したらもっとお客さんを喜ばせる
のとか語りまわったりして
いたんですよ。それすごく楽し
くて、思い出としては残っている
かな。

大学生生活の 思い出ベスト3

第2位

今年の8月にママチャリで自転車
旅に出たときのことですかね。そ
ういうことをしているとみんな
やさしくて。途中、三国峠を通
った時に会ったおじいちゃんに
、「水しか出せないけど飲んで
け」と言われ、ついて行ったら、
アイスとかお茶とかいろいろ
出してくれたりとか。他にも自
転車屋さんがタダでいろいろ直
してくれたり、温泉に行ったら
受付の人が新潟出身で割引して
くれたりとか。そんなことが
いろいろありましたね。いい感
じでした。その旅は。

Who Do?

ハンバーグ

第2回

肉料理

今回のゲストは「アメリカンフットボール部タイガース」のみなさん
前回ゲスト「ボランティア開発論」の森さんからの紹介です
そして今回は「ボランティア開発論」のみなさんがレシピを考え、調理しました！
どんな肉料理ができるのでしょうか？



材料(5食分)

- ①鳥挽肉…150g
- ②豚挽肉…150g
- ③牛挽肉…150g
- ④みじん切りの人参と玉ねぎ…50g
- ⑤卵…7個
- ⑥マイタケ…100g
- ⑦ぶなしめじ…100g
- ⑧パン粉…60g
- ⑨マヨネーズ…50g
- ⑩バター…適量
- ⑪ケチャップ…適量
- ⑫とんかつソース…適量
- ⑬わさび…適量
- ⑭醤油…適量
- ⑮塩…適量

牛 豚 鳥 野菜 3・3・3・1ハンバーグ

- ①②③⑤を混ぜ合わせよくこねる。
- ⑧⑨と⑤の卵を2個加えとにかくこねる。
- ④を⑩で炒めて、肉に加えひたすらこねる。
- 肉を5等分し、楕円形に形作る。
- 中火で熱したフライパンに肉を入れ蓋をする。
- 片面が焼きあがったら(5分程度)、もう片面を5.と同様に焼きあげる。
- 目玉焼きを作り、焼きあがったハンバーグにのせる。
- ハンバーグ完成

とにかくしっかりこねることが
美味しさのポイント!!

肉汁きのこソテー

- 強火にしてハンバーグの肉汁が残ったフライパンに⑩を入れる。
- 全体に肉汁がからむように⑥⑦をいためる。
- きのこソテー完成

sauce

デミグラスソース&わさびソース

- ①①と⑫を弱火で煮詰める。
- ⑬⑬と⑭をよく混ぜ合わせる
- それぞれ完成

「ボランティア開発論」のみなさん に作った感想等を聞いてみました

作るにあたってこだわったことは何ですか？

滝澤 ● ふわふわを目指す

小川 ● 味付けです。マヨネーズなど他では考えられないような調味料を入れたので味付けは一番こだわったと思います

どんな思いで作りましたか？

小川 ● 食べてくれる人がおいしいと言ってくれるように一生懸命作りました

作ってみた感想は？

滝澤 ● みんなで料理作って食べるのってたのしいなあって思いました

山田 ● 料理ってアバウトでもできるんだなあって思いました

いただき
ま〜す

アメフトのイメージは？

森 ● 筋肉隆々

嶋岡 ● 腕相撲が強そう

食べてみてどうですか

嶋岡 ● 予想よりおいしかったです、ふわふわ

山田 ● ヘルシーな味してる

森 ● もうちょっと柔らかい方が良かったかな

何点の出来でしたか？

森 ● 80点

山田 ● 成績で言うと可。とりあえず良ではない(笑)

その他自由にメッセージを！

山田 ● 食べてくださったアメフト部の皆さまありがとうございます

嶋岡 ● 家でもまた挑戦してみます

滝澤 ● とても楽しかったです。笑いが止まらない、素敵な時間をありがとうございました

みじん切り
します



「タイガース」のみなさんに料理の 感想やアメフト部について等を聞いて みました

食べる前に料理の見た目はどうですか？

太田 ● とてもおいしそうです

黒澤 ● とてもよくできていて、早く食べたくなりました

今、何を食べたいですか？

青木 ● ハンバーグ

渡辺 ● さしみ

アメフト部に入ったきっかけは？

鈴木 ● 勧誘されて、見に行ったら楽しそうだったから

渡辺 ● 全力でやれるようなことを探していて、それに一致した部分があったので

アメフトの楽しさは何ですか？

黒澤 ● 試合

太田 ● 強いプレーを見れること

アメフト部の魅力を語ってください

青木 ● 練習中と練習後のメリハリがあって、とても楽しい部活です

太田 ● 練習熱心で優しい人が多いこと

腕相撲は強い方ですか？

青木 ● 強くないです

黒澤 ● 弱いです

食べてみてどうでしたか？

渡辺 ● 手作りのハンバーグはやっぱりおいしいなって思いました

黒澤 ● とてもおいしかったです。やみつきになりそうです

その他、自由にメッセージ

青木 ● とってもおいしかったのでまた食べたいです。ごちそうさまでした

鈴木 ● 普段関わらない人達と話せてとても楽しかった

ごちそうさまでした

アメリカンフットボール部 タイガースからのメッセージ

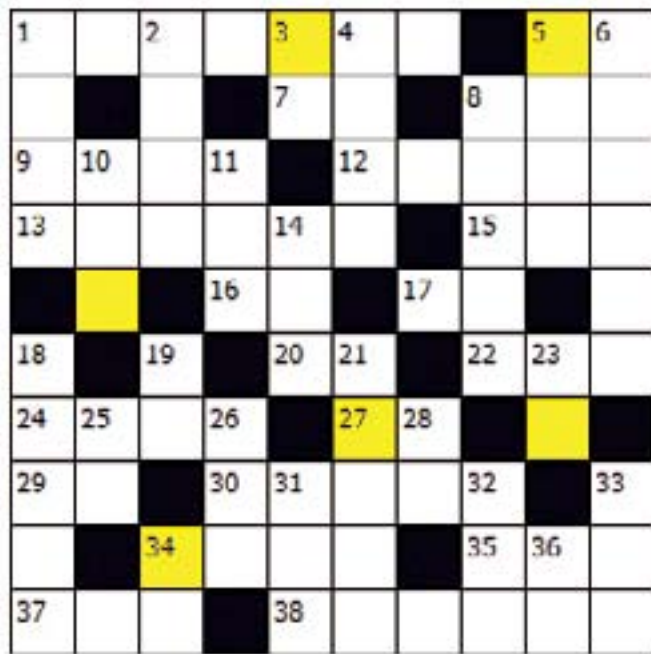
アメフト部はご飯をいっぱい食べて、ウエイトや練習に励んでいます。白米なら何杯でもいけますっ！冬は体育館で練習しているので、いつでも見に来てね☆



アメリカンフットボール部
タイガースHP <http://www.niigataxtigers.net/>

クロスワードパズル

ヒントを参考に、文字を埋めて黄色のところの文字を並び替えて答えを出してください。答えは、P14下のQRコードから新大広報携帯HPへアクセス!



編集室便り

説明しよう。「編集室便り」とは、ときに知的な、ときに無益なトークを繰り広げるといふ、学生編集スタッフと読者との素敵な社交場である。テーマもコーナーも自由自在。みなさんのお便りをお待ちしています。

今回のテーマは

「大学にまつわる雑学」です!

旭町キャンパス横の「しょうこん坂」。階段になって、いるが一段一段が広く、下る時の足音から「ワルツ坂」の別名がある(と、看板に書いてあって挑戦したのだけれどワルツにならなかった…。私のリズム感が悪いんでしょうか)。



医学科と保健学科の住所は**旭町通**だが、歯学部は**学校町通**。

トキにも

学生証を発行している。



正門よりもさらに東側に新しい門ができる。

ガソリンスタンドのT字路あたり

タテのカギ

- 1 本職じゃないのにもうプロみたいなの。半分プロ。
- 2 飛行機や船の乗り降り用の階段。海外から来た有名人はここで手を振る。
- 3 長い角があって森林に住む動物。奈良公園にもいて煎餅を食べる。
- 4 用心すること。野生動物は敵が来ないか〇〇〇〇している。
- 5 猛毒かつ暗所で燐光する。自然発火を起こすため水中で保存する物質。
- 6 大晦日に食べる麺類。
- 8 年始に販売されるモノ。中身は買うまでわからない。
- 10 役割。新大のリサイクル弁当を回収しているプロジェクト。
- 11 値段が同じもの。〇〇〇交換。
- 14 こぶしを効かせて歌います。
- 18 大会やコンクールで、金・銀・銅の円形の記章を得た人のこと。
- 19 お正月は神社でこれに願いを書いて…。
- 21 稲の原種の特徴を受け継いでいると推測される有色のお米。
- 23 〇〇の耳に念仏。
- 25 小さな力で重いものを動かす道具。〇〇の原理。
- 26 身に着ける衣服。和服。和装。
- 28 〇〇を嘔む。へそ。
- 31 海や川などの浅いところ。
- 32 生姜の仲間。ターメリック。
- 33 医学部や歯学部があるのは〇〇〇町キャンパス。
- 34 卵〇〇、袋〇〇、〇〇まり。
- 36 〇〇!! ドス!! トレス!!

ヨコのカギ

- 1 受験の第一関門。大学生のほとんどは通る道。
- 5 波〇〇、〇〇り、〇〇ぎ話。
- 7 酒蒸しや刺身、寿司のネタとして食べられている。
- 8 社会的に愚かしい欠点を遠回しに批判すること。〇〇〇漫画なども存在する。
- 9 エクセルのグラフの一種。〇〇〇〇グラフ。
- 12 あんかけ料理を作る際や料理にとろみを付ける際に、必要不可欠な調理用の粉。
- 13 これに乗って、景色を見ながら楽々山登り。
- 15 分母の上に乗っている。
- 16 「なんで浮気してるだなんて思うんだい?」「女の〇〇よ!」
- 17 今回のWho Do?のテーマは「〇〇料理」
- 20 未来、現在、〇〇。
- 22 必要以上の親切心を〇〇〇心という。
- 24 卵と魚を使ったお正月に食べる渦巻き状の料理。
- 27 軍艦が他国の船舶を支配下に置く事。捕獲。
- 29 トマトに含まれる栄養素は〇〇ピン。
- 30 イースター島にある巨大石像。
- 34 主に江戸時代の主君の敬称。〇〇〇〇カエル。〇〇〇〇バッタ。
- 35 風に乗ってあらゆるものを黄色く染めてしまう砂。
- 37 1年中で昼間がもっとも短い日。〇〇〇カボチャ。
- 38 大人の仲間入りの日。はしゃぎすぎ注意の日。

新大生がつくる・つどう・つながる

新大広報 談話室

vol.2

談話 ルーム

今回のテーマは…

「大好き! 新大!」

学生編集スタッフの大好きポイントとは?

新

潟大学イメージソング「耳をすませば」つい最近、友人から、この曲を紹介されてびっくり!近くに緑と海があり、自然に囲まれた新潟大学のイメージにぴったり合うんです!新大で学生生活を送ることは、ふだん気にもとめていなかったんですけど実は味わい深いことなんだあって、しみじみ思いました。とっても良い曲で、ますます新大が大好きになる曲なのでぜひ皆さんも聞いてみて下さい!(あんど)

★歌っている笹川美和さんは、親しみやすいユニークな人ですよ。(詳しくは169号)

僕

が最近気に入った場所は、第二食堂の隣の喫茶

店です。入るとなかなか雰囲気のある空間が広がっていて、ゆったりできるなぁと思うところ。そこで売っているサンドイッチが安くておいしい! またツインカレーというのがあって、それは、2種類のカレーがかかっている、一度で二つの味を楽しめて、なおかつおいしい! 学食もおいしいけど、たまにはそちらの喫茶店に行ってみるのもいいと思います。(さとう)

★デザートやピザもあって魅力的ですね。空き時間は、喫茶で優雅なひととき。

先

日、学部の学務から「へへへん♪」と言いながら上機嫌で出て行ったら、K先生が

ようこそ! 新大広報談話室へ!

ここは新大生による読者投稿のページ。今回は、学生編集スタッフからの投稿をお送りします。お便りどしどし募集中!

新大広報的

お悩み相談会

悩み事、一人で抱えていませんか? さて、今回のご相談は…

Q.単位がやばいです。どうしたらいいですか?

A.勉強してください。勉強はあなたを裏切らないはずです。

Q.新大のネコが懐いてくれない。ネコ大好きなのに…。どうすればネコは寄ってきてくれますか?

A.悲観することはないでしょう。ネコは私たちが思っている以上に気まぐれです。念を送ればネコも根負けするかも!

Q.彼女が欲しいです。

A. 形のあるものはいつかなくなります。そのことを忘れないでください。応援しています。

広報メンバーからの投稿、いかがでしたでしょうか? 新大広報は、こんな編集スタッフで作っています。



投稿方法

お手持ちの携帯電話でQRコードを読み取ると、新大広報携帯HPへアクセスできます。画面に従い、お好きなコーナーへ**学部・学年・ペンネーム**を添えて投稿してください。新大広報に関するご意見・ご感想もこちらからどうぞ。クロスワードの答えもご用意しています! 皆さんからの便りをお待ちしています。



新大広報に対するご意見・ご感想もこちらのアドレスにどうぞ。

QRコードが読み取れない場合や、パソコンからの投稿は**こちらから!**

http://www.niigata-u.ac.jp/mobile/shindai_kouhou.html

個人情報の取り扱いについて■新大広報では皆様からお預かりした個人情報につきまして、責任をもって管理することをお約束いたします。■アンケートや紙面へのご意見、掲載希望他、お預かりした個人情報は新大広報の企画の参考にさせていただきます。この目的以外に使用したり、第三者に提供したりいたしません。■ご記入いただいた個人情報に変更が生じた場合は速やかに上記アドレスまでご連絡ください。また、上記にご連絡いただくことによって、ご本人に限り個人情報の開示・削除・訂正をもとめることができます。

※QRコード®は、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

皆さんからの

お便り募集中!



■談話ルーム

今回のテーマは…「春といえば!」出会いや別れ、はたまた花見や行楽など…。みなさんの「春」にまつわるエピソードは?

■キャンパスアルバム

新大キャンパス内外の写真を、コメントと一緒に送ってください。

■新大広報のお悩み相談会

あなたのお悩み、新大広報編集委員がお聞きします。

■サークルさん*いらっしゃ〜い

サークル・部活紹介をしたい! という団体さんを大募集!

お便りは左のQRコードにアクセス! クロスワードの答えもこちらからどうぞ。

お知らせ

- 旅が好きであちこち行ってるよ! という方
- ふらっと旅行してみたいけど、なかなか機会がなくて…という方

新大広報の座談会(四月発行の入学式号に掲載予定)に参加してみませんか? 興味のある方は、左のQRコードからメールにてご連絡お待ちしております。

編集後記

ボラ開・アメフト部の皆さんご協力ありがとうございました!! 宮澤さんカリスマでした!! Take Rootsに来てくれた方感謝です!! (福野)

今号は新メンバーのフレッシュなアイデア満載です☆《ふと月日の流れを感じてみたり…》(泉)

今回はいろいろ参加しました、写真撮ったり、インタビューしたり。いいものができたと思います。(佐藤優)



今回も表紙を担当させてもらいました。他の記事にも主体的にかかわることが出来て、いつも以上に完成を喜んでいます。(清野)

談話室担当しました。今回集まったのは、編集員の言の葉。次回はあなたからのささやきをお待ちしております。(小川)

談話室を編集していたら、喫茶に行きたくなりました。皆さんからの投稿お待ちしております。QRコードにアクセス!(境野)

新大祭が終わった頃から、初めて新大広報の制作に参加しました! 楽しかった!(安藤)

今回は、前号よりもいろいろ参加してみました。たくさんの人に出会えたり、話もできたので楽しかったです。次号もまたがんばります。(佐藤俊)

取材を通して、人生について考える機会を何度もいただきました。貴重な出会いに感謝しています。(三木)

新メンバーも参入でますます内容盛り沢山です。実家にお帰りの際は是非新大広報を!(鏡)

新大広報 学生編集スタッフ募集!!

リニューアルから1年が経った新大広報。学生や地域の皆さんに新潟大学の「今」を広く深く伝えられるよう頑張っています。さらに内容の充実を図るために学生編集スタッフを募集しています!

こんな面白い人がいる、ぜひ新大広報でこういう企画・取材をしたいetc、理由はなんでもOK! 一緒に新大広報をつくり、大学をもっと盛り上げていきませんか? スタッフ一同お待ちしております!

募集要項

- 学部・学年は問いません。
- 編集スタッフになりたい学生は、学務部学生支援課、もしくは最寄の編集スタッフまで。

【新大広報 Back Number】

http://www.niigata-u.ac.jp/adm/c_forum/index.htm

新大広報のバックナンバーは上記のURLから見るができます。また、学務部学生支援課で受け取ることもできます。

新潟大学ホームページ

<http://www.niigata-u.ac.jp/>

2010年冬号 [No.173]

編集・発行／新潟大学広報センター・新潟大学学務部

印刷／(株)第一印刷所